

高校生との意見交換会結果概要

1. 意見交換会の概要

日 時：平成18年1月26日(木) 13:30 ~ 15:30

場 所：エポック中原(中原区)7階第3会議室

出席者：高校生 市立高校5校生徒15名

検討委員 金井副委員長、山下副委員長、中村委員

司会進行 ボヌール圓谷さん、和泉さん、嶋津さん

事務局 総合企画局政策部：土方主幹、今村主査、廣岡職員

2. 意見交換の内容(概要)

(1) 住民投票制度等のメリット・デメリットについて

メリット

多様な意見を市政に反映することができる。

たくさんの年代の人から意見が集められる。

未成年からは、大人が忘れてしまったような意見も取り入れられる。

大人の町ではなくて、みんなの町だから、意見が言えたら“ステキ”だと思う。

住民の声(投票)を聴いてからテーマの賛成・反対が決まるので、その方が新しい制度ができたときに住民の反対が少ないと思う。

市政への関心度向上が期待できる。

若いうちから、市のことについて考えられる。

選挙に向けて、18歳から住民投票を経験していればやりやすいと思う。

デメリット

未成年者が対象事案の内容を理解できないのでは。

未成年者へどの程度の情報が伝えられるのか不明である。

投票率が下がってしまうのでは。

20歳以上の人に比べて、18~19歳では投票に行かない人が多くなると思う。

選挙の投票率よりも、高校生を入れた投票率はもっと下がると思う。

責任を持たずに投票してしまうのでは。

遊び半分で投票する人もいるのではないかな。

いい加減な気持ちで投票すると、秩序が乱れてしまう。

投票結果がきちんと尊重されるか不安

住民投票で否決されても、結局議会の議決に委ねられるのであれば、住民投票を実施する意味があるのだろうか。

(住民投票後の議員の話し合いに住民の代表も参加したら、少しは公平になるのでは。)

投票結果の賛成・反対が僅差だった場合の結果が微妙になるかもしれない。

(2) 年齢要件について

年齢要件の設定について

「16歳以上」にする必要なし

今16歳だけど「投票」といわれてもピンとこない。学校のことなどなら興味あるかも。

「16歳以上」でよい

自分たちの町について一緒に意見を言い合いたいから、住民投票には行きたい。

ダメもとで投票すべし。少しでも変わろう、変わるかも、変えてやるっ！という気持ちが大事。

知識の問題があるから、高校生くらいからの方がよい。

「中学生以上」

中2～中3くらいなら住民投票の説明をされても理解できると思う。

「小学生以上」

意外と小学生くらいの方が、親と話し合ったりするのもかも。

その他

- ・テーマごとに年齢を設定することはできないか。

規定方法について

- ・同学年で差が出るのを避けるため、年齢ではなく、「高校生以上」とした方がよい。

(3) 住民投票の方法について

高校生が投票に行きやすい制度設計

【投票場所】

- ・普通の選挙みたいに、歩いていける近くの学校で行った方がよい。
- ・LHR（ロングホーム）の時にできれば、投票率も上がると思う。
- ・学校にいる間の投票なら行くと思う。

【インターネット投票】

- ・インターネットで投票できるなら投票しやすい。

【インセンティブ】

- ・投票に行ったら、何かもらえるなら投票に行くと思う（例えば、無料券、図書券、チケットなど）。
- ・ハガキなどで個人的に案内が来るより、学校で一斉に来るなど軽い方がよい。

わかりやすい情報提供

- ・説明するなら、プリントじゃなくて学校の授業などで説明してほしい。
- ・事前に、良いところと悪いところがわかれば投票しに行くと思う。

(4) 想定される住民投票のテーマについて

- ・自分に還元されるテーマ（学生に関わることは学生の意見も採り入れるべき。）
 - 学校関連（学期の2学期制導入など）
 - 高校の新設
 - スクールカウンセラーの増員 など
- ・市営の公共施設の使い方
- ・廃止された公園の復活 など

(5) その他

【外国人の投票資格について】

- ・外国人市民にも投票権があってよいと思う。

【「市長への手紙」などを使った意見表明について】

- ・確実に返信がくるのなら意見をいいたいが、失敗するのではという心配が先立って勇気が出ない。

(6) 意見交換会終了後アンケート結果 (抜粋)

住民投票が実施された場合に投票に行くか

行きたい - 8 名、テーマによる - 7 名、行きたくない - 0 名

投票資格者の年齢要件は何歳が良いか

16 歳以上 - 9 名、17 歳以上 - 1 名、18 歳以上 - 4 名、わからない - 1 名

主な自由意見

- ・年齢を高校生全体にすればいいと思う。
- ・年齢のことは大きい問題だと思う。
- ・もしも川崎市にとって重要なことを決める事があった時には、住民の人たちの意見を取り入れて欲しいときにあるといいなと思いました。

意見交換会の様子



Aグループで出された意見



Bグループで出された意見

住民投票制度のメリット

○多様な意見の聴取

たくさんの年代の人から意見が集められる。

住んでいる人たちの率直な意見が聴けると思うからよいと思いました。

○市政への関心度向上

住民の投票にもかかわらず、その後また議論があること。

選挙よりは投票率が上がると思う。

誰でも発議できること。

○住民の声を反映した市政運営

住民の意見が反映されやすい。

市民の声を反映しやすい。

住民投票の方が住民の意見が伝わって結果に反映してくれる。

住民の声（投票）を聴いてからテーマの賛成・反対が決まるので、新しい制度（テーマ）ができて住民の反対が少ない。

住民投票制度のデメリット

○投票結果の取扱い

賛成と反対の票数が僅差だったときの結果が微妙になるかも…

個人の損得ばかりになってしまいそう。

○投票結果の信頼度

人が多い分、曖昧な結果になってしまうこともありそう。

投票後の懸念

住民投票で否決されても、結局議員の決断にゆだねられたら、やる意味あるの？って思う。

住民投票後の議員の話し合いに住民の代表も参加したら、少しは公平な結果になると思うかな。

年齢要件

未成年者投票権に

賛成派

未成年者投票権に

慎重派

年齢を下げると、結局、発議者の負担が増えると思う。

今16歳だけど「投票」といわれてもピンとこない。学校のことなどなら興味あるかも…。

住民投票の年齢が下がると、賛成と反対の票数の差が大きくなって意見の数が多くなると思う。

16歳以上

投票資格の年齢要件が高い。16歳くらいでも大丈夫だと思う。

投票年齢を16歳くらいからにするなら、高校生だったらLHR（ロングホームルーム）の時にでもできると思うし、投票率も上がると思う。

中学生

中2～中3くらいなら住民投票の説明をされても理解できると思う。

小学生

意外と小学生くらいの方が、親と話し合ったりするのかも。

○要件の規定方法

例えば「16歳以上」とすると誕生日がきていない人は投票に行けないので、年齢で決めるのではなく、「高校生以上」とする方がよいと思う。

テーマごとに年齢を決めればよいと思う。

投票場所

インターネットで投票できるなら行く。

情報提供

事前に詳しく良いところと悪いところがわかれば投票しに行くと思う。

説明するなら、プリントじゃなくて学校とかで授業というかたちで説明してほしい。

外国人の投票資格

市に住んでいる外国籍の人なら投票権を持てるようにする。

外国人市民にも投票権があつてよいと思う。

未成年者に投票資格を与えたときのメリット

○多様な意見の聴取

学生は学生なりの意見が聴けてよいと思う。

新鮮な意見が聴ける。

未成年からは、大人が忘れてしまったような意見も取り入れられる。

大人の町ではなくて、みんなの町だから、意見が言えたら“ステキ”だと思う。

年齢差の意見がたくさん出てよいと思う。

同じ市に住んでいる自分の意見を踏まえてほしい。

自分だったら行きます！若い人の意見も必要だと思う。

地元の人間の意見が聴ける。

人の思っていることがわかってよい。

○市政への関心度向上

子どもが意見を言えるから、よいと思う。

都合のよい町にしないために、住民投票があるのでは？

若いうちから、市のことについて考えられるから。

自分の意思で、自分の意見が言える場があることはよいこと。

20歳になったときにある選挙に向けて、18歳から住民投票を経験していればやりやすいと思う。

全市民のうちの投票者数が増える。

上の人の意見より、自分たちの方がよい。

未成年者に投票資格を与えたときのデメリット

○未成年者が理解できる情報提供ができるか

情報がどれくらい伝わっているのかわかりにくいし、住民投票の説明をみんながみんなできるかわからない。

未成年で年齢が浅いと知識も浅いと思われる部分が出てくるかも。

自分でダメかなあと思ったら行かないかも。

○投票率低下のおそれ

20歳を過ぎた大人でも選挙で無効票が出るのに、高校生ではもっとダメな気がする。

20歳以上の人に比べて、18～19歳では投票に行かない人が多くなると思う。＝投票率が下がる。

○投票結果の信頼度

遊び半分で投票する人もいるんじゃないかな…

他人まかせ。

いい加減な気持ちで投票すると、秩序が乱れてしまう。

自分では勉強しない。

発言権があると、都合のよい町になってしまう。

年齢要件

投票に行く人が少なく、「もっと投票に来て！」というなら、最初から18～19歳に下げしてほしい。

知識の問題があるから、高校生くらいの方がよい。

これなら投票に行く

○方法などに関係ない理由

自分たちの町について一緒に意見を言い合いたいから、住民投票には行きたい。

投票をすれば、自分にとって嬉しいことが実現するかも。

お金を払っているにもかかわらず、意見が反映されないとカネが無駄になる。

“意識”だと思うかな。

「住民投票をしたい！」と思うには、みんなが市への思いを強くしなきゃダメだと思う。

○投票率アップのためのしくみ

投票に行ったら、何かもらえたら行くと思う（例えば、無料券、図書券、チケットなど）。

手紙だけじゃなく、テーマに対する説明があれば行くと思う。

○投票結果の市政への反映度

投票したことが、反映されるなら行く。

たくさんの意見が反映されているならば自分も行くと思う。

○気軽な住民投票

気軽に投票できたら行く！

>近所で投票できるように

ハガキなどで個人的に案内が来るより、学校で一斉に来るなど軽い方がよい。

普通の選挙みたいに、近くの学校で行った方がよいと思う。

投票が簡単なら、みんな行くと思う。

歩いていける距離だったら行くかも！？

投票システムが面倒なら行かない。簡単なら行く。

>学校で投票できるように

学校にいる間の投票なら行くと思う。

そのとき忙しかつたら行かないかもしれない。

○住民投票のテーマ

行くかどうかは、内容によりけり。

頼まれたり、強制的だったり、粗品があったり、自分にかかり近い内容だったり、すぐ終わるような簡単でわかりやすいものだったりすれば行く。

わかる内容だったら行く。自分の地域のことは自分がよく知っているが、わからない内容だったら行かない。

ダメもとで投票すべし。少しでも変わろう、変わるかも、変えてやるっ！という気持ちが大事だと思う。（←現代の大人の人人々に）

上の方の人になると意見を聴いてくれないかも。

市政への参加

○市長の認知度

市長を知らない。顔を見たことがないから言えない。

○市長のイメージ

市長は、“上”とか“遠い”という存在。

○市長への手紙

市長さんに手紙を書いてみたいけど、私自身、はっきり言って市長さんが誰だかわからないので、何とも言えない。

ちゃんと返信が来るなら言いたいけど、失敗が先立って勇気が出ない。

結果に反映されないといいにくい。

8～9割に返信が来るなら、言いたい。

住民投票のテーマは？

自分に還元されれば、「投票に行きたい！」と思うのでは。（例）学校関連、高校の新設など

事件が多発している世の中で年末に起こった小学生誘拐事件などを考えると、すでに始めているところもあるが、通学路に大人の人が見てくれる動きを市全体で始めてほしい。

学期の2学期制について

つぶされた公園を復活させてほしい。

「いじめのために隣の中学校に行った」という例は少ないが、いろいろな人から意見が出すぎて手が回らなくなってしまうと思う。

子ども110番の店をわかりやすくしてほしい。

市営の公共施設の使い方をよくするよう呼びかけたい。

学生に関わることは学生の意見も採り入れてほしい。

スクールカウンセラーをもっとつくる！

その他

人の話をよく吟味して自分の意見を練る。

教師の教育信念が違う感じがする。→アピールしていない。

時間にルーズな人ほど、集合場所の近場に住んでいることがある。←そのことを伝えたい

意識の問題 →メリットとデメリット